

すこやか 1

第217号
月号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA



新型コロナウイルス感染症について ～症状、予防、症状が出た時の対応～



事業管理者・院長
荒川 創一

- 日本泌尿器科学会専門医・同指導医
- 日本感染症学会感染症専門医・同指導医
- 日本透析医学会専門医
- 日本性機能学会専門医
- 日本性感染症学会認定医
- 日本化学療法学会抗菌化学療法指導医
- 日本化学療法学会抗菌薬臨床試験指導医
- ICD (Infection control doctor)

新型コロナウイルス感染症の症状

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）とは、令和元年後半に中国武漢で発生し、昨年の初めから日本でも流行が始まった新規のコロナウイルスによる呼吸器感染（肺炎など）を主体とする疾病です。

COVID-19の症状は発熱、咳が最も多く、呼吸苦を伴う場合もあり、嗅覚・味覚異常も時に見られます。一方で、無症状でウイルスを保菌している人も多く、そういう方から他者に感染することもあります。症状が現れた人のうち、80%は軽症のまま（通常のかぜ程度）1週間ほどで治ります。残る20%の方が呼吸困難などを来し、その1/4ぐらいの人が集中治療室で人工呼吸などを受けないといけない重症となります。

予防と症状が出た時の対応

社会生活において、COVID-19に罹らないため

には、まず、3密（密集、密閉、密接）を避けることが重要です。このウイルスは会話、咳、クシャミで口から飛び出す飛沫（しぶき、目に見えない）の中に含まれて、それがそばにいる人の鼻や口に入ってうつっていきます。お互いマスクを着用せずに1m以内で15分といった時間でも話をする、一方の人がこのウイルスを有していた場合、高い確率で感染が起こります。それを避けるのが3密回避であり、ユニバーサルマスクングといって、全ての人がマスクを着用することも大切です。マスクは飛沫感染を防ぎます。ウイルスが付着したものを手で触れ、鼻や口に無意識に運んでしまう接触感染も防ぐ必要があります。そのため、手指の衛生を保つことが重要で、外出から帰宅したら流水・石鹸で手洗い、スーパーでのお買い物時などにはお店に入る前と出るときにアルコール製剤を手指に刷り込むといった習慣をつけましょう。

37.5℃以上の発熱が3日以上続く、それに咳も伴ってきた（となるといわゆる風邪症状ですが）場合は、まずはかかりつけ医に電話で相談してください。緊急時や相談先に迷う場合は、発熱等受診・相談センター（帰国者・接触者相談センター、三田市の場合、宝塚健康福祉事務所：電話0797-62-7304）に電話連絡しましょう。症状に応じて、病院への受診方法などを案内してくれます。



インフルエンザと 新型コロナウイルス感染症の予防

感染管理認定看護師 福井 淳宏

はじめに

年が明け寒さが厳しくなり、空気が乾燥してきました。このような環境ではウイルスが活性化され、ウイルスによる感染症が増える可能性があります。

この冬は、インフルエンザウイルスと新型コロナウイルス両方の感染症をうまく識別できるのか懸念されています。1面で新型コロナウイルスの症状と予防についてお知らせしましたので、ここではインフルエンザの症状と両者に共通する感染予防についてお話しします。

インフルエンザとは

インフルエンザとはインフルエンザウイルスに感染して起こる病気です。例年12月頃に流行し始め1月～3月に患者は最も多くなります。発熱、咳、のどの痛み、頭痛、筋肉痛、倦怠感が症状として現れます。発症の1日前から感染性があるとされています。発熱が特徴ですが、高熱が出るとは限りません。

発症後5日かつ解熱・症状消失後2日はお仕事や学校をお休みされることが他者への感染防止につながります。症状が出現して24時間以内は検出できない時がありますが、高感度キットでは初期から検出できます。総合判断して抗インフルエンザウイルス薬が処方されます。

予防はインフルエンザワクチン接種をするこ

とです。65歳以上の健康な高齢者で約45%発病を阻止、約80%は死亡を阻止できたとの報告があります。ワクチン接種をお勧めします。



共通して実施すべき感染予防とは

両者の感染症に対する感染予防は、こまめに石鹸と流水による手洗いを行うこと、他の人と距離が近くなる場合は常にマスクを着用すること（ユニバーサlmasking）、他の人との距離をとること（ソーシャルディスタンス、最低でも1mの間隔）です。

また、ドアノブなど、よく触れる環境を次亜塩素酸ナトリウム消毒薬により清掃することで感染のリスクを下げることができます。市販の次亜塩素酸ナトリウム系漂白剤で効果が期待できます。多くが5～6%の濃度の商品ですので、水道水で希釈して使用します。下記の表を参考にして希釈液を作成し、使用してください。この消毒液は、金属類や天然繊維を腐食させますので手すりやドアノブなどの消毒後は水拭き、空拭きをおこなっておくことをお勧めします。

次亜塩素酸ナトリウム希釈方法	
希釈方法 (濃度が5～6%とした場合)	日々の清掃時：次亜塩素酸ナトリウム2ml + 水道水500ml 感染症消毒時(ノロウイルス含む) ：次亜塩素酸ナトリウム10ml + 水道水490ml

Information ①

退院支援連携室の紹介

看護部患者支援リンクナース委員会

当院では、患者さんの療養の場が地域・施設と変化する中で、一貫した看護が提供できるように取り組んでいます。在宅療養に向けて少しでも役立つ情報をお伝えできればと思い、3回にわたってテーマごとに紹介させていただきます。

1回目は、「退院支援連携室」を取りあげます。当室は入退院・診療の際に患者さんを支援する「総合支援センター」の一部門で、「入院支援連携室」、「医療相談窓口」とともに、下記表のようにさまざまな支援を提供しています。

総合支援センター	入院支援連携室	<入院予定の患者さんの相談> 入院、手術などに向けた準備・説明 各科・病棟・地域との連携と調整
	退院支援連携室	<入院中の患者さんの相談> 在宅医療・介護・福祉との連携 退院後の療養先の調整
	医療相談窓口	受診科相談、がん相談、看護・健康・介護相談、医療費・医療、福祉、介護に関する手続きについての相談

ここが知りたい

母・娘の二人暮らしです。80歳になる母親が家で転んで足を骨折してしまいました。入院して手術をする予定です。今までは家の中は1人で歩いていたのですが、今回のことで寝たきりになるのではないかと心配しています。これからは一緒に暮らしたいと思っているのですが、私1人で介護ができるか不安です。



お答えします

一般的に手術の後はこれまでより筋力が低下し、関節の動きに制限がおきる可能性があります。ご高齢になればなる程、その傾向が強くなるので手術翌日からリハビリテーションを開始していきます。家の中を1人で歩けるまで回復できるかは個人によって異なりますが、介護関係のさまざまなサービスを受けることで、これま

で通り自宅で療養を続けていくことは可能です。

入院中の患者さんが退院後の生活を考えるにあたり、ぜひご利用いただきたいのが「退院支援連携室」です。ご本人もご家族も安全に安心して在宅療養ができるように、病棟看護師や医師、理学療法士などの医療スタッフと院内連携を行うと同時に、担当のケアマネジャーや訪問看護師とも院外連携を行い支援していきます。さらに在宅でどのようなサービスを受けることができ、費用はどれくらいかかるのかなどの相談や、リハビリテーション病院など他施設の情報提供や連携も行っています。これは入院したその日から考えることが大切なポイントで、スムーズな支援が可能となります。「退院支援連携室」は入院日から利用できますので、まずは病棟看護師にご相談ください。



※次回は「自宅で利用できる介護サービス」を紹介する予定です。

CLOSE UP

クローズアップ

救急看護認定看護師の資格を取得

救急看護認定看護師 水本 真菜



平成30年に、救急看護認定看護師の資格を取得しました。

私が救急看護認定看護師を目指した理由は、救急の現場に携わった経験から、1人でも多くの方を救いたいと思ったからです。三田市の救急の質の向上に少しでも貢献できればと考えています。救急看護の役割のひとつに、重症の患者さんご家族に対し、安全な医療を提供することがあります。私が救急看護で大切にしていることは、患者さんの安全安心を考えること、生活の視点を忘れず看護を提供すること、また辛い経験をされている患者さんご家族の思いに寄り添い支援することです。現在は救急重症病棟において、さまざまな職種と連携し、チームの一員として回復に導く看護ケアの実践に努めています。その他、他部署のスタッフと協力し、患者さんのケアについて話し合い、緊急時に備えた訓練に参加しています。専門家として幅広い知識・技術を身につけ、さまざまな状況・思いに対応できる力を養うため努力したいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。

Information ②

医師・看護師修学資金のお知らせ

医学生、看護学生を対象とした修学資金の貸与者を募集します。詳細は三田市民病院HPを参照いただくか、下記 連絡先 まで問い合わせてください。

名称	令和3年度 三田市民病院・済生会兵庫県病院医師修学資金貸与	令和3年度 三田市民病院 看護師修学資金貸与
対象	上記いずれかの病院で医師として勤務する意思を持つ医学生（令和3年4月入学予定者含む）	三田市民病院で看護師として勤務する意思を持つ看護学生（令和3年4月入学予定者含む）
貸与額（月額）	大学1年～4年生まで12万5千円、 大学5年～6年生まで17万5千円	看護師6万円、 助産師8万円
利子	無利子	無利子
返還免除の条件	貸与期間に相当する期間を上記いずれかの病院で勤務すること	貸与期間に相当する期間を三田市民病院で勤務すること
申請期間	令和3年2月1日～26日	※土・日曜、祝日除く ※申請前に面談が必要

※市民病院総務課（TEL 565-8605）

コメディカル

内視鏡検査機器について

臨床工学科 田中 敬士

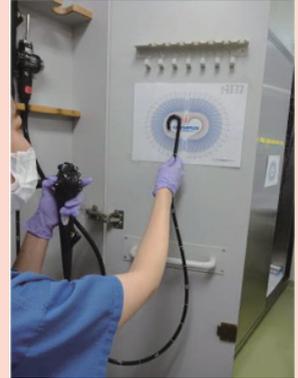
令和元年度から臨床工学技士が内視鏡装置管理を中心に内視鏡業務を開始しました。内視鏡検査は食道、胃、十二指腸や大腸にビデオスコープ（カメラ）を挿入し、検査を行います。ビデオスコープ（カメラ）以外にも光源装置や画像記録装置などの内視鏡システム、超音波内視鏡スコープ、アルゴンプラズマ凝固装置、生体モニター等があり、これらの機器を使用し検査や治療を行っています。臨床工学技士は内視鏡検査機器の定期的な点検、または検査・治療に使用する機器の準備、使用後のビデオスコープ（カメラ）の洗浄等を行うことで、安心・安全に内視鏡検査ができる環境を整えています。



ビデオスコープ



使用前点検で機器が正常に動いているかの確認を行います



ビデオスコープのアングルチェック

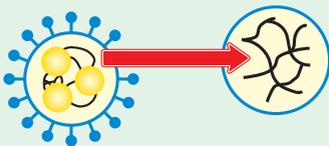
コメディカル②

新型コロナウイルス検査

臨床検査科 高路 紗智子

新型コロナウイルスの検査には、PCR検査と抗原検査があります。それぞれのしくみと特徴を紹介していきます。

PCR検査



PCR検査は、新型コロナウイルスの遺伝子を選択的に増幅させることでウイルスが体内に存在しているかどうかを調べる検査です。

抗原検査

抗原検査は、遺伝子に絡みついている核タンパクを調べる検査です。検体中のすべてのウイルス粒子を壊して核タンパクを取り出し、新型コロナウイルスの核タンパクがあるかどうかを調べます。その方法には、イムクロマト法と化学発光酵素免疫測定法（以下、CLEIA法）の2つがあります。

- イムクロマト法は、簡便な検査キットに利用されることが多く、迅速検査に使用されています。イムクロマト法は、目的となるウイルスがいる場合に、ろ紙に線が浮き出てくるところを、目視で判定を行うため、専用機器のない施設でも検査が可能です。
- CLEIA法は、専用の大型機器が必要で、ウイルスの抗原定量検査に使用されています。CLEIA法は、新型コロナウイルスに発色物質を付着させ、発光量を専用機器で読み取ることでウイルス量を数値化します。このため、迅速検査に比べごく少量のウイルス量でも、体内にウイルスが存在しているかどうかを調べることができます。



近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう！



さつきクリニック 松本 敏昭 院長

さつきクリニックは、人工透析専門診療所として、1995年に開院し、快適で安全な人工透析療法のために職員一同研鑽に努めて25年になります。

39台の透析装置で外来患者さんに血液透析治療を施行しており、病院連携も主に三田市民病院を中心に専門的検査や入院など必要に応じて速やかにご紹介しております。

医師・看護師はもとより薬剤師・管理栄養士にも気軽にご相談いただける環境づくりに努め、当院で治療を受けたいと思えるようなクリニックであるとともに人工透析療法を受けている皆様に寄り添う医療を守り続けたいと思っております。



〒669-1534 三田市横山町7-7

電話：079-563-3533

診察科目：内科、腎臓内科、人工透析内科

休診日：土曜・日曜・祝日、火・木曜日午後

《透析時間》

月・水・金
午前8:30～午後11:00
火・木・土
午前8:30～午後1:00

診療時間	午前：10:00～12:00 午後：3:00～5:00					
	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	×
午後	○	×	○	×	○	×



新任 医師紹介

当院では令和2年9月より新しく医師を迎え入れました。よりいっそう日々の診療に力をいれてまいります。



耳鼻いんこう科 副医長

窪田 雄一

くぼた ゆういち

令和2年9月より耳鼻いんこう科に着任した窪田です。

平成31年3月まで当院に勤務していました。地域の皆さんに貢献できるよう努めてまいります。

よろしくお願いいたします。

出身地：兵庫県

編集後記

年明け寒さがいっそう厳しくなり、空気の乾燥が強まっています。感染症が流行する条件が揃う时候になりました。引き続きマスクの着用、手洗いの徹底に加えて、旬の食材を取り入れた栄養バランスのよい食事をとり、免疫力をアップさせて新型コロナウイルス、インフルエンザなどの感染症を予防しましょう。

すこやか(第217号)
令和3年1月発行

【編集・発行】
三田市民病院
学術広報推進委員会



三田市民病院

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
TEL.079-565-8000 (代表)
<https://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>